

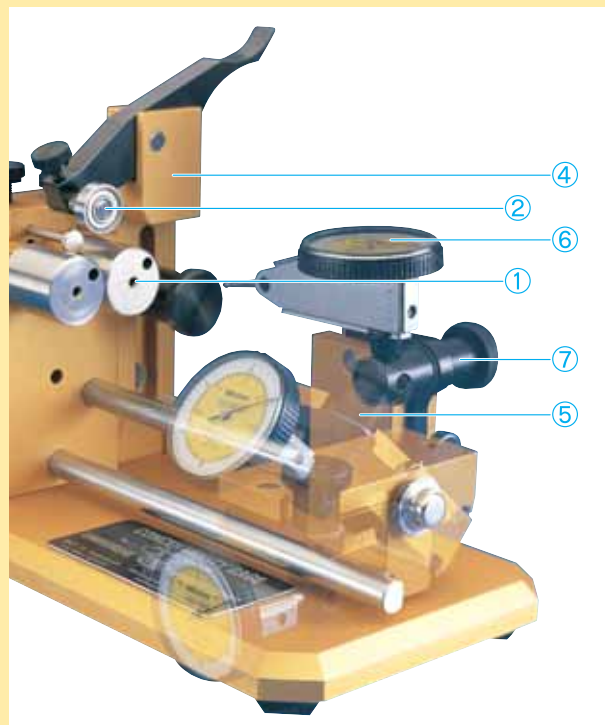
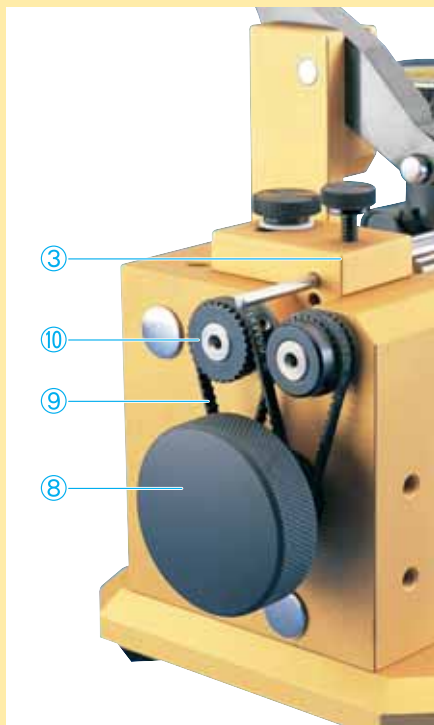
## モーター駆動ゲージ



手動でローラーを回す時に力が均等に加わらないケースがあり測定が不安定となる事があります。ワークのローラーへの座りも2~3回転後させた後の方が良くなりますのでモーター駆動によるワークの回転の方がより高い測定精度を得ることが出来ます。

非接触型の測定計器（レーザー、インダクションセンサー等）での測定にはモーター駆動は必須です。DC24Vモーターによる可変速（0~10rpm）駆動が標準となります。

## 標準モデル機能説明



①メインローラー

②トップローラー  
トップローラーでワークを保持します。

③トップストップ(オプション)  
ワークの位置決めをします。

④ヨークアセンブリ

トップローラー(押えローラー)の位置決めをします。トップローラーがメインローラーのセンターに来るように調整しロックネジで、固定してください。

⑤インジケータキャリアー  
テストインジケータを保持します。90°ロッド(シャフト)上を回転します。ワーク取り替えの時に、便利です。テストインジケータの角度微調整にはキャリアーの後部にあるノブを使います。

⑥テストインジケータ(オプション)  
6mmφあり溝付きステムをご使用ください。

⑦インジケータスイベルランプ  
6mmφあり溝付きステムでセットします。

⑧ドライブノブ

⑨ドライブベルト(タイミングベルト)

⑩ドライブベルトプーリー